

汚れ防止 汚れに 抗菌性

汚れが拭き取りやすい特殊フィルムを貼った壁紙です。

汚れ防止にはエパール®フィルムとファンクレア®フィルムの2タイプがあります。

汚れ防止性能試験結果

壁紙工業会制定「汚れ防止壁紙性能規定」に準拠

汚染物	除去剤	エパール®フィルム	ファンクレア®フィルム	一般ビニル壁紙
コーヒー	水	◎	◎	××～○
しょうゆ	水	◎	◎	××～○
クレヨン	中性洗剤	◎～◎	◎～◎	××～○
水性サインペン	中性洗剤	◎～◎	◎～◎	××～○
ジュース※	中性洗剤	◎～◎	◎	××～○
たばこ※	中性洗剤	◎	○	××
ボールペン※	アルコール	◎	◎	××
油性マジック※	アルコール	◎～◎	◎～◎	××
□紅※	アルコール	◎	△	××

◎ 汚れが残らない(5級) ○ ほとんど汚れが残らない(4級) △ やや汚れが残る(3級)

× かなり汚れが残る(2級) ×× 汚れが濃く残る(1級)

※ 汚染物は自主追加試験として行いました。

● 汚れの落とし方

- 汚れが付いたら、水が中性洗剤を薄めて拭き取り、仕上げは乾布で拭き取ってください。
- 洗剤が残ると変色の原因になりますのでご注意ください。
- 壁紙表面に凹凸がある場合、歯ブラシなどを使って汚れを除いてください。シンナーなどの溶剤は壁紙を痛めますので避けてください。
- ジョイント部分に付いた液や洗剤が染込むと取れなくなり、剥がれの原因にもなりますのでご注意ください。

※ 壁紙の汚れには多種多様なものがあります。汚れの種類や付着後の放置時間によっては完全に除去できないことがあります。

※ 表面のフィルムが破損するとその部分の汚れ防止機能は失われますのでご注意ください。

ファンクレア®フィルム

☐ 汚れ防止 ファンクレア®フィルムの特長

ファンクレア®フィルムを使用している商品には、☐ 汚れ防止 と表示しています。

ファンクレア®はゲンゼ株式会社の登録商標です。

ファンクレア®フィルムを使用している商品の詳細については各機能性の説明をご覧ください。

(リフククリーン28頁、アカルクリーン29頁)

水汚れに強い

水汚れが心配なトイレ・洗面の水廻り用途におすすめ。

施工時の糊が拭き取りやすく、拭き残した糊も乾燥すると薄い膜状になって剥がれます。

施工性

比較的柔らかいフィルムなので出隅・入隅の納まりがよく、冬期も施工しやすくなっています。

抗菌

壁紙表面に付着した特定の細菌の増殖を抑制。抗菌性能および安全性はSIAAの基準に適合しています。

ファンクレア®フィルムの成分であるポリプロピレン(PP)は、レトルトの包装や食品容器など多くの身近なものに使用されています。

抗菌性能については「抗菌」の説明をご参照ください。(35頁)



無機抗菌剤・練り込み
表面層

ファンクレア®フィルム

JP0122748X0002H

ファンクレア®プラス勇臭フィルム(リフククリーン)

JP0122748X0003I

エパール®フィルム

☐ 汚れ防止 エパール®フィルムの特長

エパール®フィルムを使用している商品には、☐ 汚れ防止 と表示しています。

エパール®は株式会社クラレの登録商標です。

エパール®フィルムを使用している商品の詳細については各機能性の説明をご覧ください。(スーパーハードタイプ 31頁)

油汚れに強い

水汚れはもちろん、しつこい汚れや油汚れ、油性マジックもアルコールを使って拭き取れます。

臭いがつきにくい

臭気成分をバリアして、壁紙への臭いの付着を防ぎます。

特にタバコの煙成分(ヤニ)の汚れや臭いが付着しにくくなっています。

抗菌

壁紙表面に付着した特定の細菌の増殖を抑制。抗菌性能および安全性はSIAAの基準に適合しています。

エパール®フィルムは食品包装などに使用されている安全なフィルムです。

抗菌性能については「抗菌」の説明をご参照ください。(35頁)



無機抗菌剤・練り込み
表面層

エパール®フィルム

JP0122748X0001G

さらに 汚れ防止 表面強化/ハードタイプ 汚れ防止なら

傷に 傷がつきにくい

一般ビニル壁紙に比べて表面強度のあるハードタイプと表面強化タイプがあります。

表面強化性能については「表面強化」「ハードタイプ」の説明をご参照ください。(30頁)

△ 施工上の注意

汚れ防止の施工上の注意は21頁をご参照ください。

一般のビニル壁紙と比べ施工難度がやや高いため、施工費が割増しになる場合があります。

上記データは代表値であり、保証値ではありません。使用場所、気温、日照などの条件によって若干異なります。